

1. 科目名 (単位数)	学校保健特論 (2 単位)	3. 科目番号	SJMP5323
2. 授業担当教員	戸次 佳子		
4. 授業形態	講義および文献購読、討論	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	特になし	履修形態 (通信教育)	R
7. 講義概要	学校保健特論においては、時代の変化に対応した学校保健の充実と発展が望まれるが、そのためには科学の進歩や社会情勢の変革に即応した学校保健のあり方を捉える必要がある。学校保健は、教育の目的を達成するための一環として位置づけられるものであり、学校教育の成果をあげるためには不可欠なものである。学校保健は具体的に大別すると、保健教育と保健管理に分類できるが、本教科目においては、保健教育と保健管理とその役割及び学校保健の進め方について理解し、習得することが大切である。		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学校保健の意義について解説することができるようになる。 2. 学校保健の機能と内容について解説することができるようになる。 3. 学校で流行する感染症の予防教育について実践することができるようになる。 4. 学校における学校保健の進め方について解説し、実践することができるようになる。 5. 保健教育の具体的な内容とその役割について解説することができるようになる。 6. 保健管理の具体的な内容とその役割について解説することができるようになる。 		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<p>[レポート課題] {各レポートは、A4 判、横書き、明朝体 10.5 ポイント、2 ページ (1 ページあたり 40 字×39 行) にまとめて下さい。}</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 子どものアレルギーに関する注意点について；(テーマ 4 終了時に提出する。) 2) 虐待児童への対応の注意点について；(テーマ 9 終了時に提出する。) 3) 学校で起きる子どもの事故とその対応について；(テーマ 15 終了時に提出する。) 		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【参考書】 教員養成系大学保健協議会『学校保健ハンドブック』(第 7 次改訂) ぎょうせい、2019 渡邊正樹 編著『学校保健概論』光生館、2019 随時プリントを配布する。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準 学校保健の機能と内容について説明できることが大切である。 レポート課題と受講態度で評価する。</p> <p>○評定の方法 レポート課題 80% 受講態度 20%</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>大学院は、学術の理論及び応用について研究し、その深奥を極めて、文化の進展に寄与することを目的とするものである。大学院の目的を達成するために、積極的、意欲的に授業へ参加し、課題に対して思考し、判断し、解決のできる能力を高めてもらいたい。学校保健は学校教育の根幹をなすものであり、学校保健の重要性について理解し、認識を高めてもらいたい。</p>		
13. オフィスアワー	授業中に周知する。		
14. 学習の展開及び内容	【テーマ、学習の目標、学習の内容、キーワード、学習の課題、学習する上でのポイント等】		
1. テーマ	学校保健の意義と目的		
	<p>【学習の目標】 学校保健の意義と目的について解説することができるようになる。</p> <p>【学習の内容】 学校保健の概要および学校保健の法的根拠について学ぶ。</p> <p>【キーワード】 学校保健 意義と構造 概要 法的根拠</p> <p>【学習の課題】 保健教育、保健管理および保健組織活動について</p> <p>【参考文献】 教員養成系大学保健協議会『学校保健ハンドブック』(第 7 次改訂) ぎょうせい、2019 渡邊正樹 編著『学校保健概論』光生館、2019</p> <p>【学習する上での留意点】 学校保健の意義と目的を把握する。</p>		
2. テーマ	子どもの発育・発達		
	<p>【学習の目標】 子どもの発育・発達について理解し、説明することができるようになる。</p> <p>【学習の内容】 子どもの身体の発達と心の発達について理解し、その具体的な内容を習得する。</p> <p>【キーワード】 発育・発達・成熟 体力・運動能力 心の発達 保健教育</p> <p>【学習の課題】 子どもの発育・発達・成熟について</p> <p>【参考文献】 渡邊正樹 編著『学校保健概論』光生館、2019 教員養成系大学保健協議会『学校保健ハンドブック』(第 7 次改訂) ぎょうせい、2019</p> <p>【学習する上での留意点】 子どもの身体と心の発達との関連についても考える。</p>		
3. テーマ	子どもの健康と病気		
	<p>【学習の目標】 子どもの病気や安全管理について解説することができるようになる。</p> <p>【学習の内容】 留意すべき子どもの病気について知り、健康課題について理解する。</p> <p>【キーワード】 子どもの先天的な病気 アレルギー疾患 生活習慣病</p> <p>【学習の課題】 子どもに多い病気とアレルギー疾患について</p> <p>【参考文献】 教員養成系大学保健協議会『学校保健ハンドブック』(第 7 次改訂) ぎょうせい、2019 渡邊正樹 編著『学校保健概論』光生館、2019</p> <p>【学習する上での留意点】 子どもによく見られる病気やアレルギーについて理解し、学校現場での留意点を理解する。</p>		

4 . テ ー マ	健康診断の意義と位置づけ
【学習の目標】	保健管理の主体管理の領域における健康診断、保健調査の重要性について解説することができるようになる。
【学習の内容】	健康診断の意義・目的、検査項目と実施、保健調査の意義について学ぶ。
【キーワード】	学校保健法 事後措置 臨時健康診断 生育歴 既往歴 自覚症状
【学習の課題】	健康調査票の作成について
【参考文献】	渡邊正樹 編著『学校保健概論』光生館、2019 教員養成系大学保健協議会『学校保健ハンドブック』（第7次改訂）ぎょうせい、2019
【学習する上での留意点】	健康診断の実際について把握する。
5 . テ ー マ	学校における感染症とその予防
【学習の目標】	学校において予防すべき感染症とその対応について理解する。
【学習の内容】	子どもの感染症について知り、その予防や対策について学ぶ。
【キーワード】	学校感染症 予防 出席停止 予防接種
【学習の課題】	主な学校感染症とその出席停止期間について
【参考文献】	渡邊正樹 編著『学校保健概論』光生館、2019 文部科学省「学校において予防すべき感染症の解説」2018
【学習する上での留意点】	特別活動の各領域と保健指導の関連を区別できるようにする。
6 . テ ー マ	応急処置と蘇生法
【学習の目標】	児童・生徒の事故災害が発生したときに、応急処置ができるようになる。
【学習の内容】	応急処置の目的、手当の基本、傷と止血、気道確保、人工呼吸、心臓マッサージについて学ぶ。
【キーワード】	呼吸停止 心停止 大出血 人工呼吸 心臓マッサージ 体位 保温 気道確保
【学習の課題】	応急処置の理論と実際について
【参考文献】	渡邊正樹 編著『学校保健概論』光生館、2019 厚生労働省「救急蘇生法の指針」
【学習する上での留意点】	応急処置の正しい理論を理解するとともに、災害発生時に応急処置を実践できるようにする。
7 . テ ー マ	学校における性についての指導
【学習の目標】	学校教育における性の健康についての今日的課題を知り、指導のあり方を理解する。
【学習の内容】	性の健康に関する今日的な課題を知る。性に関する指導を学ぶ。
【キーワード】	後天性免疫不全症候群（AIDS）感染経路 HIV感染症 性感染症 性教育 保護者との連携
【学習の課題】	学校における性教育の指導内容と指導の進め方について
【参考文献】	渡邊正樹 編著『学校保健概論』光生館、2019 教員養成系大学保健協議会『学校保健ハンドブック』（第7次改訂）ぎょうせい、2019
【学習する上での留意点】	性教育における学校・家庭、地域の連携について理解する。
8 . テ ー マ	子どもの心の健康に関する対応
【学習の目標】	子どもの心の健康に関する対応について解説することができるようになる。
【学習の内容】	学校教育における心の健康教育について学ぶ。
【キーワード】	学校保健安全法 健康観察 健康相談 心のケア QOL 心的外傷後ストレス障害（PTSD）
【学習の課題】	子どもの心の健康に関する現状と課題について
【参考文献】	渡邊正樹 編著『学校保健概論』光生館、2019 文部科学省「子どもの心のケアのために」2015
【学習する上での留意点】	子どもの心の健康に関する様々な現状今日的な課題を理解し、その対応について理解する。
9 . テ ー マ	学校における保健教育
【学習の目標】	保健教育を通して、健康で安全な生活を営むために必要な知識と保健教育の重要性について理解する。
【学習の内容】	保健教育の目標と内容について学ぶ。
【キーワード】	保健学習 体育科 特別活動 育成する資質・能力
【学習の課題】	保健教育の構造について
【参考文献】	文部科学省平成『29・30年改訂学習指導要領』 渡邊正樹 編著『学校保健概論』光生館、2019
【学習する上での留意点】	保健教育には保健学習と保健指導があることを理解する。
10 . テ ー マ	保健室の役割と意義（1）
【学習の目標】	保健室の役割と意義について解説することができるようになる。
【学習の内容】	保健室の歴史の変遷と養護教諭の役割について学ぶ。
【キーワード】	健康診断 健康相談 保健指導 応急処置
【学習の課題】	保健室の位置や広さ備品について
【参考文献】	渡邊正樹 編著『学校保健概論』光生館、2019 文部科学省平成『29・30年改訂学習指導要領』
【学習する上での留意点】	特別活動などによる保健指導について理解する。
11 . テ ー マ	保健室の役割と意義（2）
【学習の目標】	保健室経営計画について理解する。
【学習の内容】	保健室経営と保健室の機能について学ぶ。
【キーワード】	保健室経営 学校保健活動センター 健康危機管理
【学習の課題】	応急処置や休養の場としての保健室について
【参考文献】	渡邊正樹 編著『学校保健概論』光生館、2019 教員養成系大学保健協議会『学校保健ハンドブック』（第7次改訂）ぎょうせい、2019
【学習する上での留意点】	保健室には、学校保健活動センターとしての機能があることを理解する。

12. テーマ	学校環境衛生：教室内と教室外の環境衛生管理
【学習の目標】	学校環境衛生の重要性を理解し、解説することができるようになる。
【学習の内容】	学校環境衛生の重要性と課題、教室内の環境衛生管理、教室外の環境衛生管理について学ぶ。
【キーワード】	環境衛生 空気環境 光環境 音環境 校舎の衛生管理 飲料水管理 プール管理
【学習の課題】	学校環境衛生について
【参考文献】	渡邊正樹 編著『学校保健概論』光生館、2019 文部科学省「学校保健安全法」2018
【学習する上での留意点】	学校環境衛生の基準を理解し、その管理と指導ができるようにする。
13. テーマ	学校安全：事故災害の発生要因、事故災害の予防
【学習の目標】	学校における事故の発生要因や災害防止について解説することができるようになる。
【学習の内容】	事故災害の実態、事故災害の発生要因、事故災害の予防と防止対策について学ぶ。
【キーワード】	生活安全 交通安全 災害安全 安全教育 安全管理 発生要因 事故防止
【学習の課題】	学校における事故災害を防止するために、「生活安全」、「交通安全」、「災害安全」について述べよ。
【参考文献】	渡邊正樹 編著『学校保健概論』光生館、2019 文部科学省「学校保健安全法」2018 教員養成系大学保健協議会『学校保健ハンドブック』（第7次改訂）ぎょうせい、2019
【学習する上での留意点】	生活安全、交通安全、災害安全について理解し、学校安全の管理と指導ができるようにする。
14. テーマ	学校保健計画と学校保健組織活動
【学習の目標】	学校保健計画と学校安全計画について解説できるようになる。
【学習の内容】	学校保健計画の作成の手順について学ぶ。
【キーワード】	学校保健計画 安全計画 安全組織 学校保健委員会 地域学校安全委員会
【学習の課題】	学校保健組織活動について
【参考文献】	渡邊正樹 編著『学校保健概論』光生館、2019 文部科学省「学校保健安全法」2018
【学習する上での留意点】	学校保健は、学校感や地域との連携を考える事も重要である。
15. テーマ	「学校保健特論」のまとめ
【学習の目標】	今学期、14週間で学んだ学校保健特論のまとめをする。
【学習の内容】	学校保健の今後の問題点や課題について論議する。
【キーワード】	学校保健、健康、安全、衛生
【学習の課題】	授業中に指示する。
【参考文献】	特になし
【学習する上での留意点】	これまでの課題と学習内容を振り返る。